

公共施設再編計画の市民ワークショップ

1. 開催概要

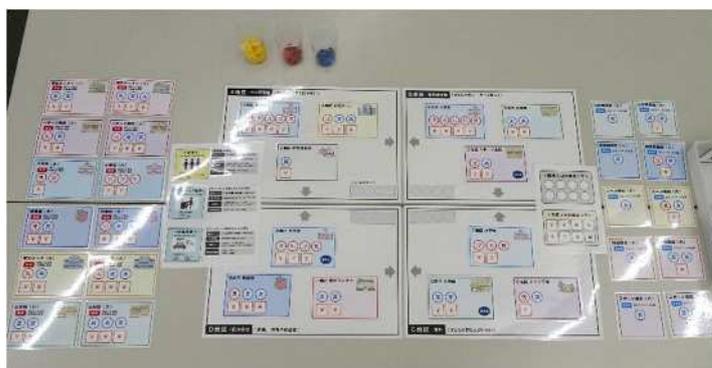
開催日	時間	場所	参加者数
令和6年12月21日(土)	10:00~12:30	南コミュニティセンター	18名
	15:00~17:30	北コミュニティセンター	18名
令和7年1月18日(土)	10:00~12:30	中央コミュニティセンター	21名
	15:00~17:30	東コミュニティセンター	22名
参加者計			79名

[プログラム]

時間	内容
約30分	開会あいさつ
	大野城市公共施設の現状について
	マネジメントゲームの説明
約90分	公共施設マネジメントゲーム1巡目(15年後:15分、30年後:15分)
	1巡目ふりかえり
	休憩
	公共施設マネジメントゲーム2巡目(15年後:10分、30年後:10分)
	2巡目ふりかえり(グループワーク)
約30分	グループ発表
	閉会あいさつ
	アンケート回答・回収

2. 公共施設マネジメントゲームの概要

- 本市をイメージした4地区の公共施設を対象に、社会情勢の変化に応じて、施設再編を体験する。
- 社会情勢は15年後と30年後の2ターンで変化し、グループで話し合いながら、限られた予算の中で、「増加する高齢者」、「減少する子ども」に対応した施設の更新、廃止、複合化などを検討。



公共施設マネジメントゲーム

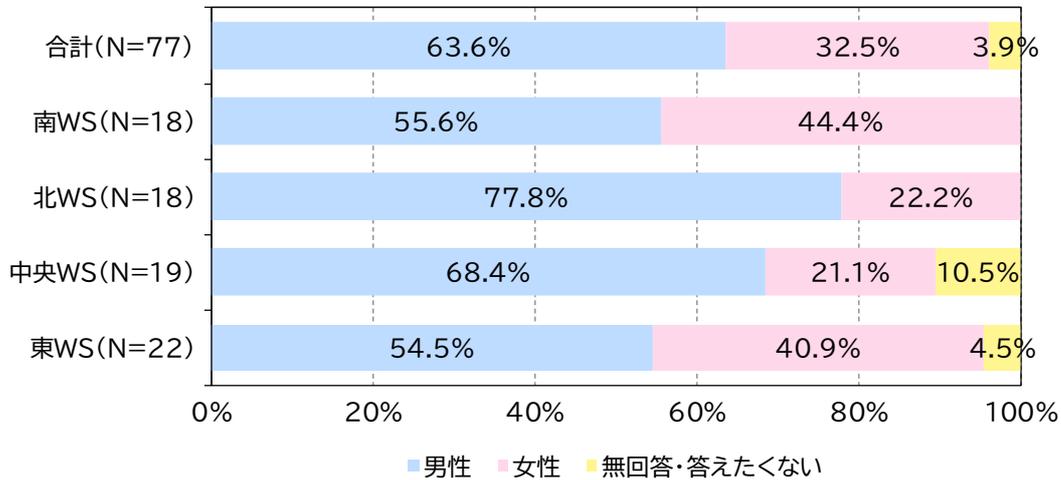
- 今回のゲームに慣れるために、15年後と30年後の2ターンを1巡とし、全体では2巡でゲームを実施。
- マネジメントゲームでは、スタート時点の施設数及び機能数からの増減を点数化し比較するほか、2巡目では地区特性を考慮した都市マネジメントも意識させて再編を検討。
- 公共施設マネジメントゲーム終了後、各班でグループワークを行い、今後の施設再編のあり方について意見交換を行い、情報を共有。

3. 参加者アンケート結果

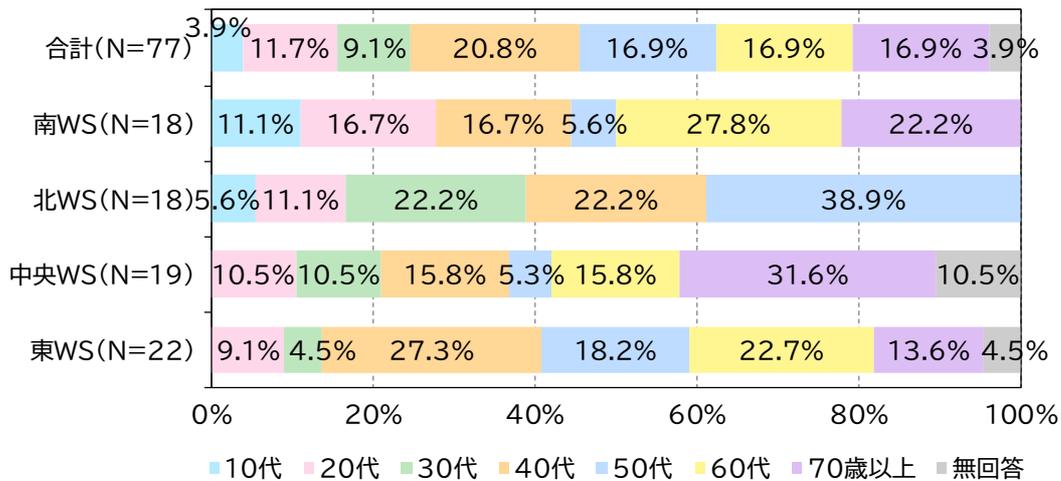
【参加者の傾向・全体の印象】

- ・ 参加者は男女で幅広い年代に参加頂いた。
- ・ 今回のマネジメントゲームは好印象であった。

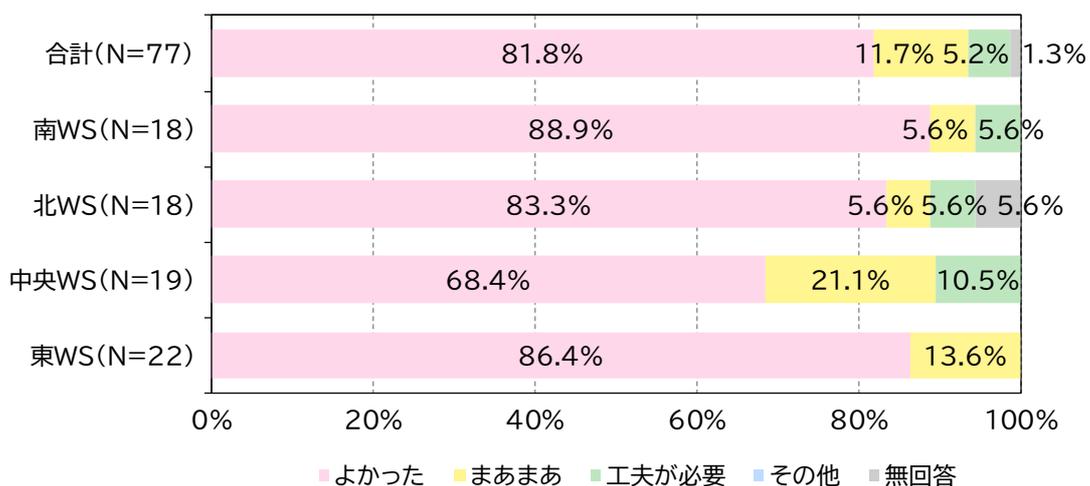
問1-① 性別



問1-② 年齢



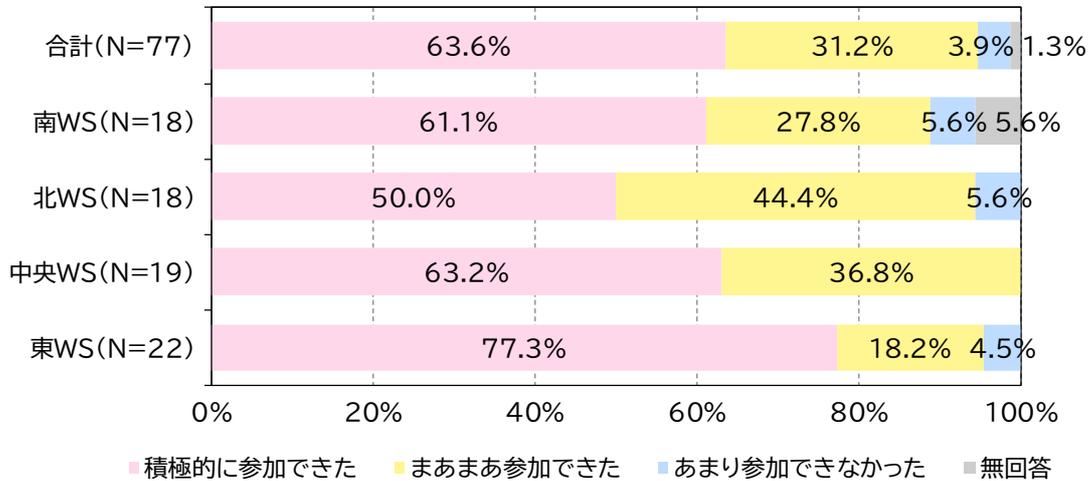
問2-① 「公共施設マネジメントゲーム」の全体の印象



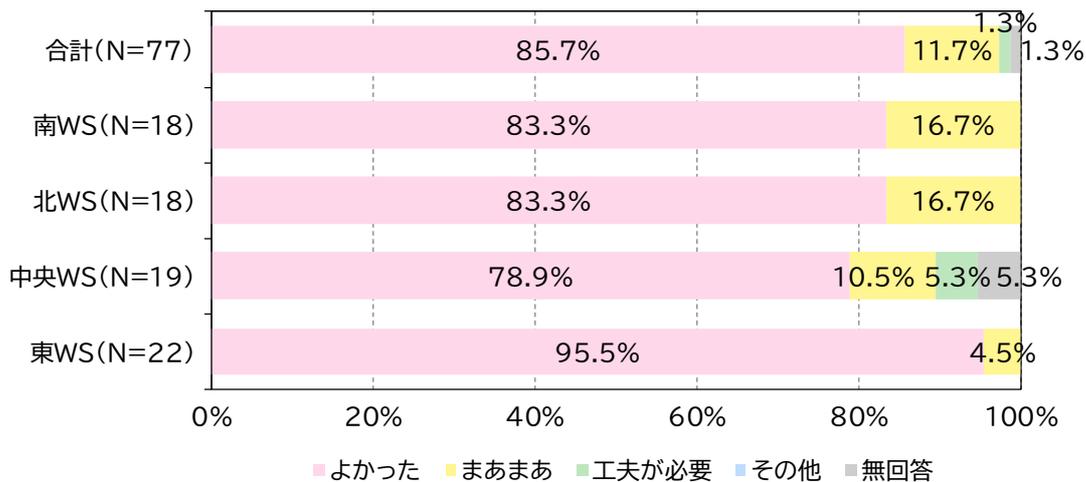
【ワークショップの印象】

- ・ マネジメントゲーム、グループワークともに多くの方が積極的に参加し、活発な議論ができたという回答が得られた。

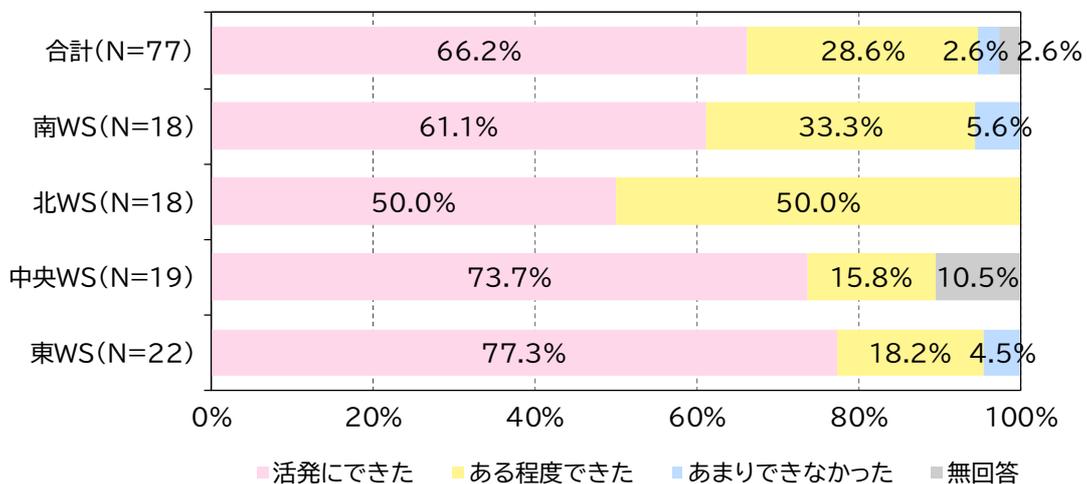
問2-② 公共施設マネジメントゲームについて



問3-① 「グループ内での議論」の全体の印象



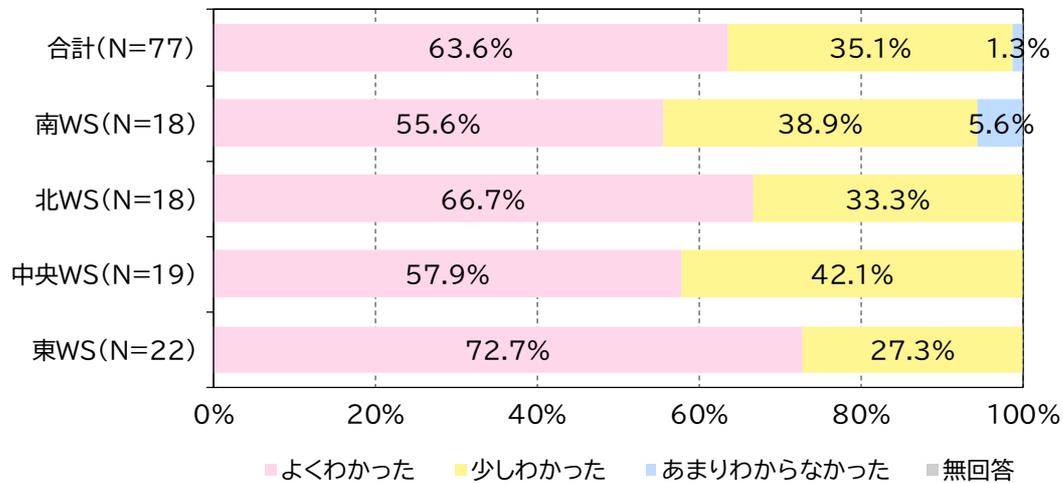
問3-② グループ内での議論について



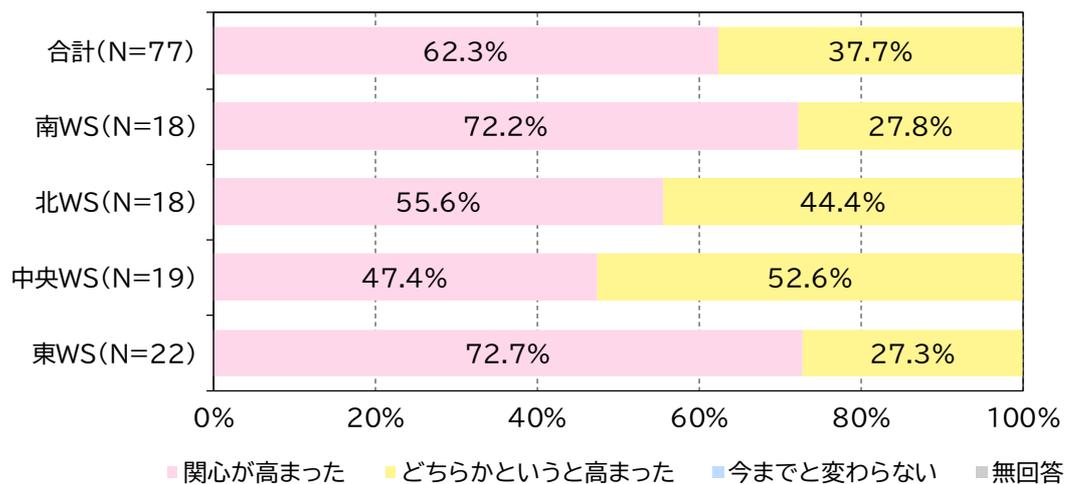
【公共施設マネジメントへの意識】

- ・ 今回のワークショップを通して、参加者の多くの方が、公共施設マネジメントへの理解が深まり、今後の関心や必要性を考えるきっかけになったと思われる。

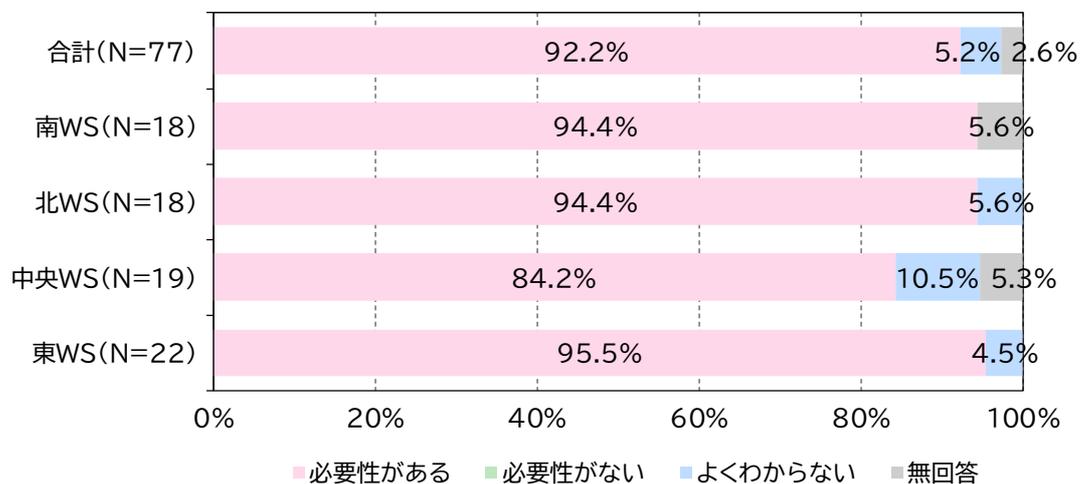
問4 ゲームを通じて公共施設マネジメントへの理解は深まりましたか？



問5 公共施設マネジメントへの関心はどうなりましたか？



問6 これから市として取り組む公共施設マネジメントの必要性について、どのように感じましたか？



公共施設再編計画の市民ワークショップ^o

開催日時：12月21日（土）10：00～

開催場所：南コミュニティセンター 視聴覚室

参加人数：18名



マネジメントゲームの感想

- ・ 1巡目にキャンプ場や市営駐車場を廃止したことを反省し、2巡目に臨んだがハプニング発生(コロナ)によって予算が足りず、高齢者の居場所を確保できなかったのは悔しい。
- ・ 限られた予算の中で、施設や機能をどう配置するかめっちゃめっちゃ考えた。中学生の立場から、今回のWSはすごく楽しく、将来のことを考える良い経験となった。
- ・ これまでは、学校は学校として、公民館は公民館として、それぞれ単体で利用するイメージが強かったが、今回のマネジメントゲームを通して、今後は公共施設を柔軟に使っていくことが必要と感じた。
- ・ 例えば、学校を幅広く活用できれば、市民は使いやすくなり、行政もコスト削減が期待でき、双方にとってメリットが生まれると感じた。

■ 学校施設と複合化するのに望ましい施設（グループワークまとめ）

施設分類候補	想定されるメリット
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場 ・多世代交流 ・高齢者福祉施設と同じように、世代間交流ができる ・地域の人とふれあえる場となる ・地域コミュニティの充実 ・地域の一員であることを実感できる ・行事への参加増 ・防犯見守り
保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・給食等、設備が共有できる ・兄弟児 安心 ・送迎負担減
留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き → 今後ますます増える ・学校と保育所との連携 ・元から小学校にある設備や環境を利用して運営することができる ・子育て世代が働きやすい環境をつくることできる ・兄弟児 安心 ・送迎負担減
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学力向上と大人の学習の場ができる ・子どもたちにより多く本に親しんでもらえる ・世代間交流もつながる ・図書館まで行かなくてよい ・コミュニケーション ・司書を削減できる
高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流 ・多世代交流 ・世代交流が進む ・子どもと高齢者の交流。昔話など、高齢者が生きてきた昔の話など子どもたちに ・伝えていく ・地域コミュニティの充実 ・学びの場 ・住宅地は少子高齢化が進む ・空き教室を使って、世代間交流や高齢者のデイサービス等
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動の活発化

■複合化するのに望ましい施設（WS アンケート）

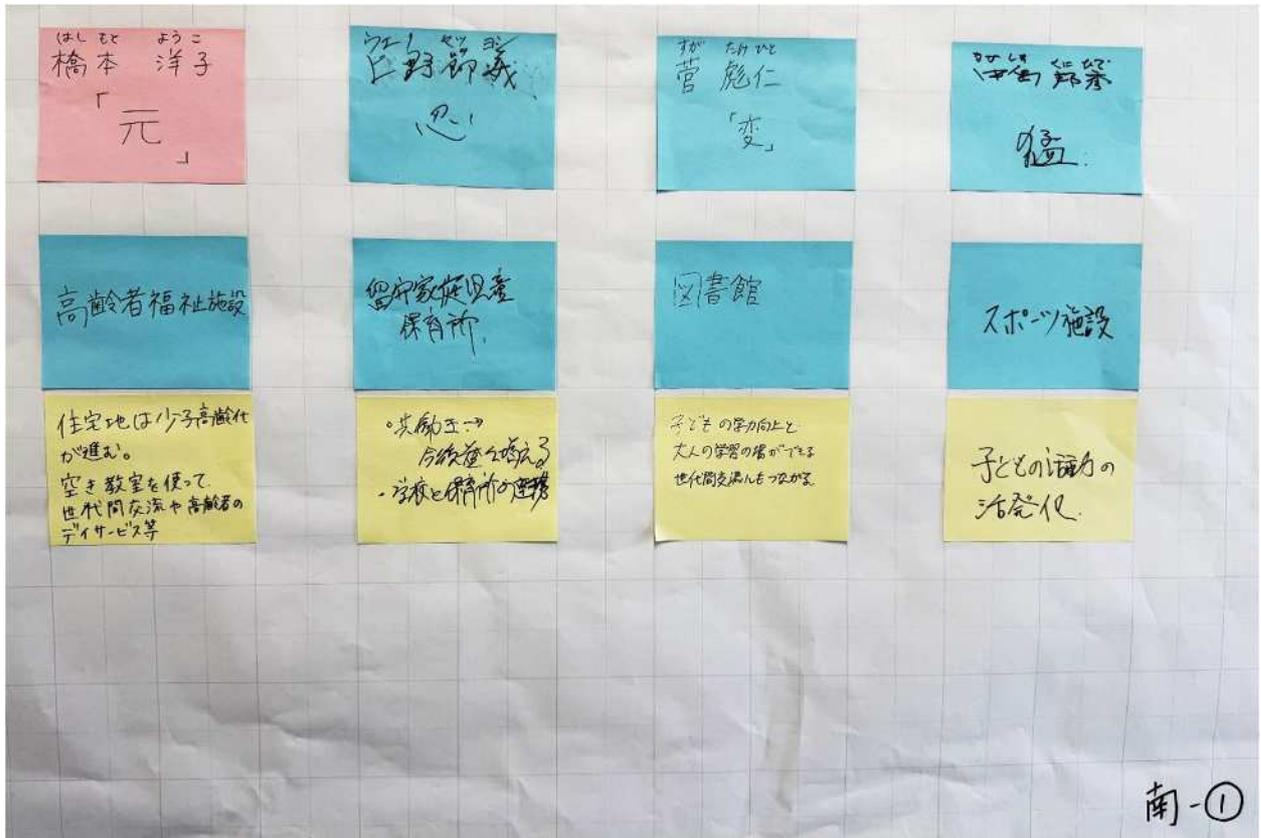
施設分類候補①	施設分類候補②	想定されるメリット
学校	福祉施設	・世代間交流
	図書館	・司書の削減
	公民館・福祉施設	・世代間交流ができて、地域の伝統文化が伝わる
	留守番児童待機所	・子育て支援につながる ・小学校にある元からの設備を利用できる
	スポーツ施設	・子どもの気分転換 ・多動などの特性を持った子どもの気持ちのはけ口になる ・体を動かす機会の増加 ・子どもから大人まで運動することで健康促進につながる ・世代間交流をはかれる
	保育所、児童保育所、 図書館、スポーツ施設、 福祉施設	・空間の有効活用がキーワードになるものと思われる ・各コミュニティの特性によって複合化を検討すべき
	様々な施設（公民館、 保育所、福祉施設等）	・維持費の予算が減る ・世代間交流になる ・これから、修繕費をカバーするためにも、施設使用料の見直し（値上げ）をお願いします ・他市と同様なところは、早急に変えた方が良いと思います。市民からの声が上がっています
留守番児童待機所	スポーツ施設	・小学生児童などが積極的に体を動かすことができる
福祉施設	スポーツ施設	・行政としてはコスト減 ・市民としてはサービス向上
公民館	図書館	・学生が勉強しに行きやすくなるし、もしかしたら、公民館の人が勉強を教えてくれるかも

<その他意見>

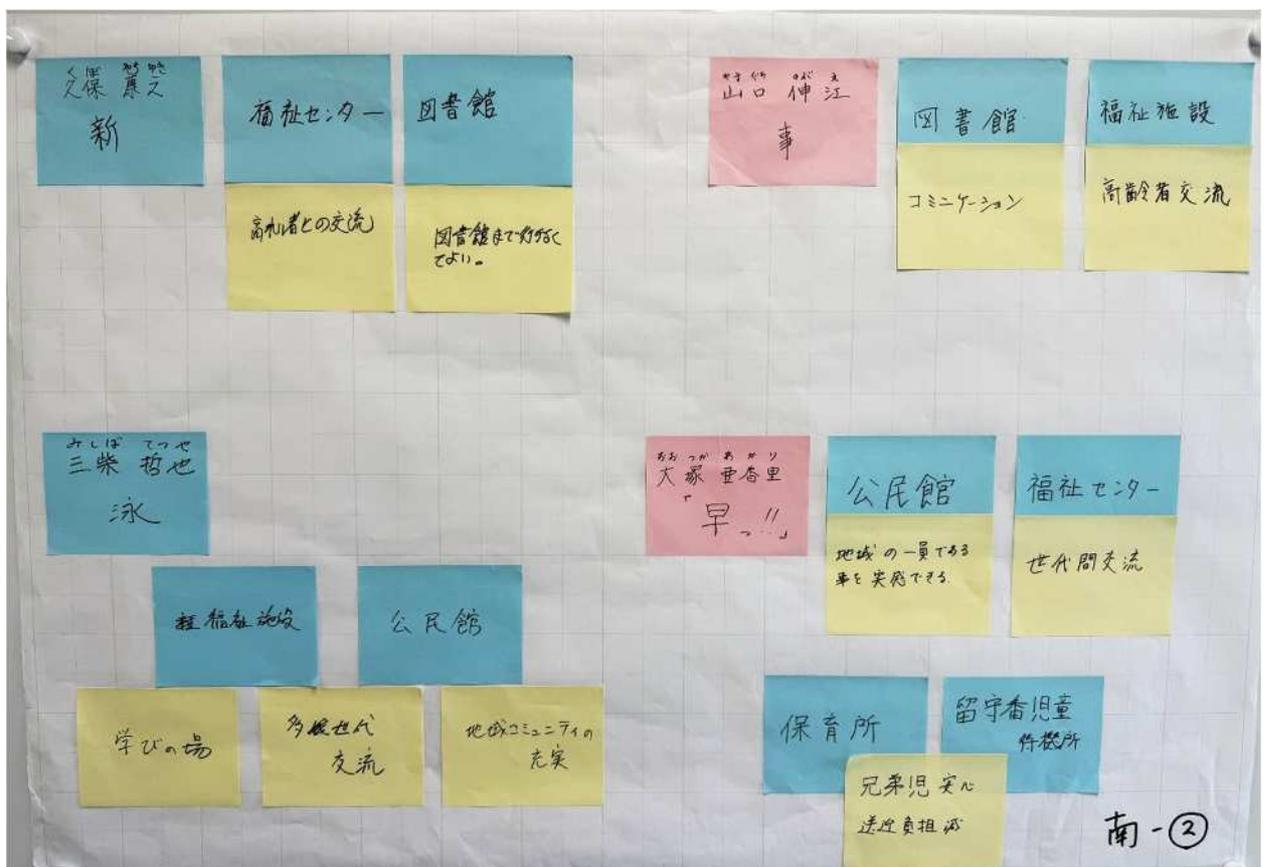
- ・学校 + 保育所 + 学童
- ・学校 + 児童保育所
- ・コミュニティセンターの利用料を上げてほしい

■ 成果写真

<1班>



<2班>



< 3班 >

中島 恵 忙	中島 契 楽	中島 潤 疲	菅 裕 若	菅 蓮 転	菅 尾 史子 災
公民館	公民館	高齢者福祉施設 保育園	公民館 高齢者福祉施設	図書館	高齢者福祉施設
行事への参加増	ちいちゃん 34歳	世代間交流 おどろき 高齢者で満ちる 24時間LPの活用	世代交流 進む	司書と削減 できる	子供と高齢者の交流 有識者高齢者の 対話による 推進し促す
防犯見守り			公民館		
			高齢者福祉施設 と同様に 世代間交流 進む		

南-③

< 4班 >

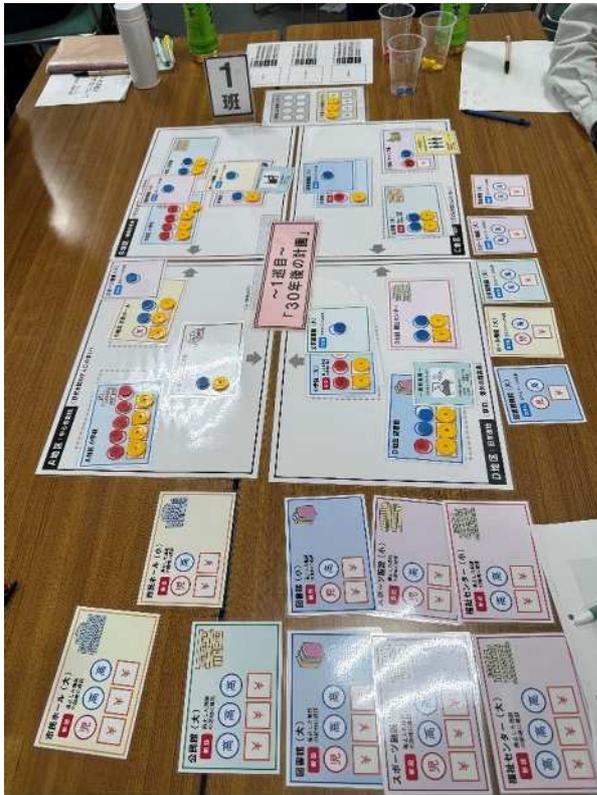
遠藤 伸 新	土屋 算平 骨	山 美代子 痛	川 満徳 戦
留守 留守家庭児童 保育所	留守家庭 児童保育所	図書館	学校+ 保育所
元小学校の児童を 環境に利用し運営を 進めたい。	子供世代が 働ける環境を つくること。	子供達により 本に親しみ易く なる	メリット ・設備が ・飲食等、共有できる。

南-④

■ 公共施設マネジメントゲーム結果 (2 巡目の「30 年後の計画」)

1 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



2 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



3 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」

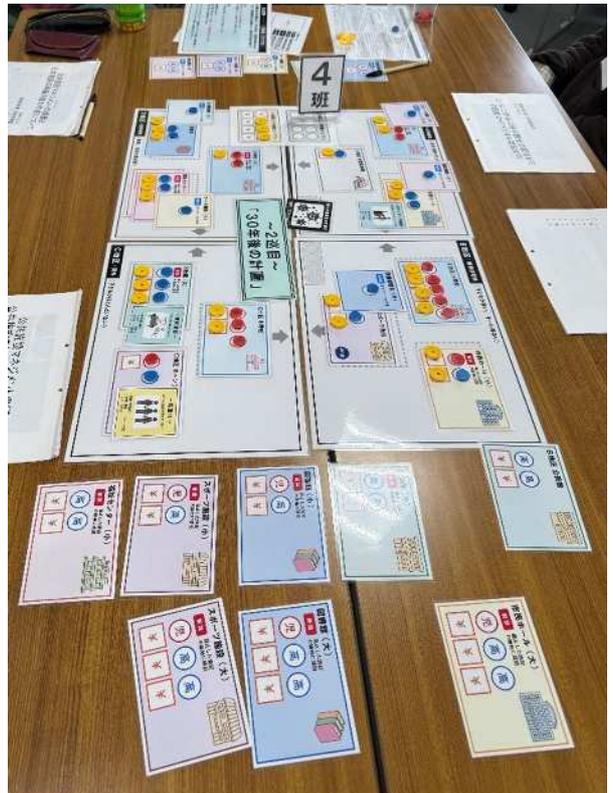


4 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



公共施設再編計画の市民ワークショップ

開催日時：12月21日（土）15：00～

開催場所：北コミュニティセンター 視聴覚室

参加人数：18名



マネジメントゲームの感想

- ・ 地区の特徴や利用者のことを意識しながら、施設や機能を配置していくのは難しいと感じた。
- ・ 1巡目は厳しかったが、2巡目になって民間活用や収入源を確保し、予算に余裕が出てくれば可能性が生まれると感じた。機能の数では決して多くはないが、多くの施設を建て替えることができたことで、魅力的なまちとなったと思う。
- ・ 4つの地区に満遍なく施設や機能を配置することはできたが、地区の特性をあまり意識できなかったのは反省に感じている。
- ・ 今回は他の班と比べると機能数で少なかったが、もう一回できればより良い結果を出せたと思う。

■ 学校施設と複合化するのに望ましい施設（グループワークまとめ）

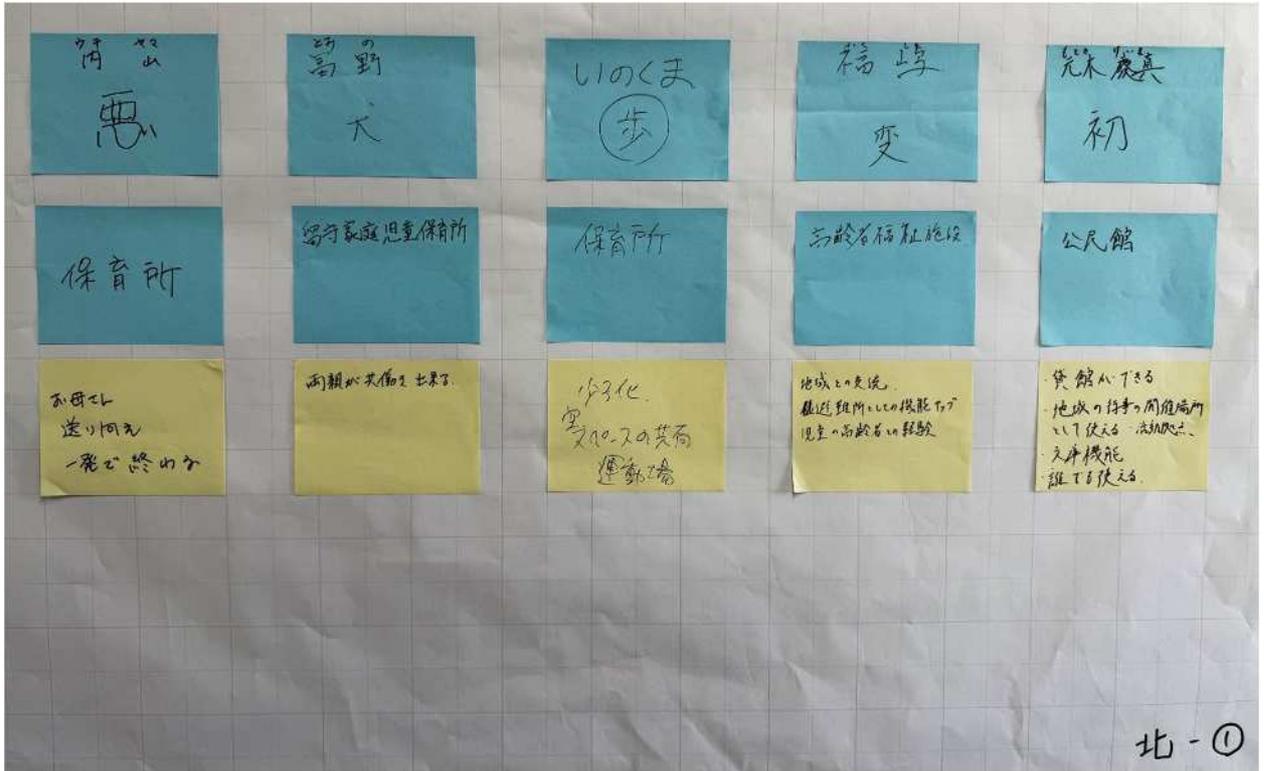
施設分類候補	想定されるメリット
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館ができる ・地域の行事の開催場所として使える ・誰でも使える ・活動拠点 ・文庫機能 ・担い手不足の公民館を、子どもの頃から身近に感じることで、自然と足を運び、交流の場が生まれる ・広い
保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの送り迎えが一発で終わる ・少子化、空きスペースの共有、運動場 ・グラウンドや遊具の共有化 ・広い土地が不要
留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・両親が共働きできる
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の本の充実 ・図書共有 ・市民への図書館室開放によって、図書館機能を持たせられる ・統一（複合化）することで、図書の購入、維持管理にかかる費用の削減
高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の高齢者との経験 ・高齢者 → 子どもへの伝承（文化、遊びなど） ・活気が生まれることで、多世代交流の場となる ・地域交流の増加 ・地域との交流 ・避難所としての機能アップ ・少子高齢化に伴い、小学校の縮小化 ・高齢者施設の導入
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい設備でスポーツができる ・お金が入ってくる ・スポーツ振興 ・スポーツ施設には高齢者がいっぱい来る。顔見知りになれる
小児科	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をした時に、すぐに処置できる
複合フリースクール	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学び ・能力別学習 ・不登校児童の減少 ・個性の伸長 ・雇用拡大 ・人材、地域活性 ・夢、可能性
公民館、高齢者福祉施設、留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部の共有化 ・移動無し ・地域一体化 ・見守り
保育所、高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと会うことで高齢者の生きる活力 ⇔ 昔話等を伝える ・年下、年上との接し方の勉強ができる
留守家庭児童保育所、図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強ができる（集中できる） ・静かな環境の提供 ・書物を読んで、時間稼ぎができる ・親がいない時も使用できる

■複合化するのに望ましい施設（WS アンケート）

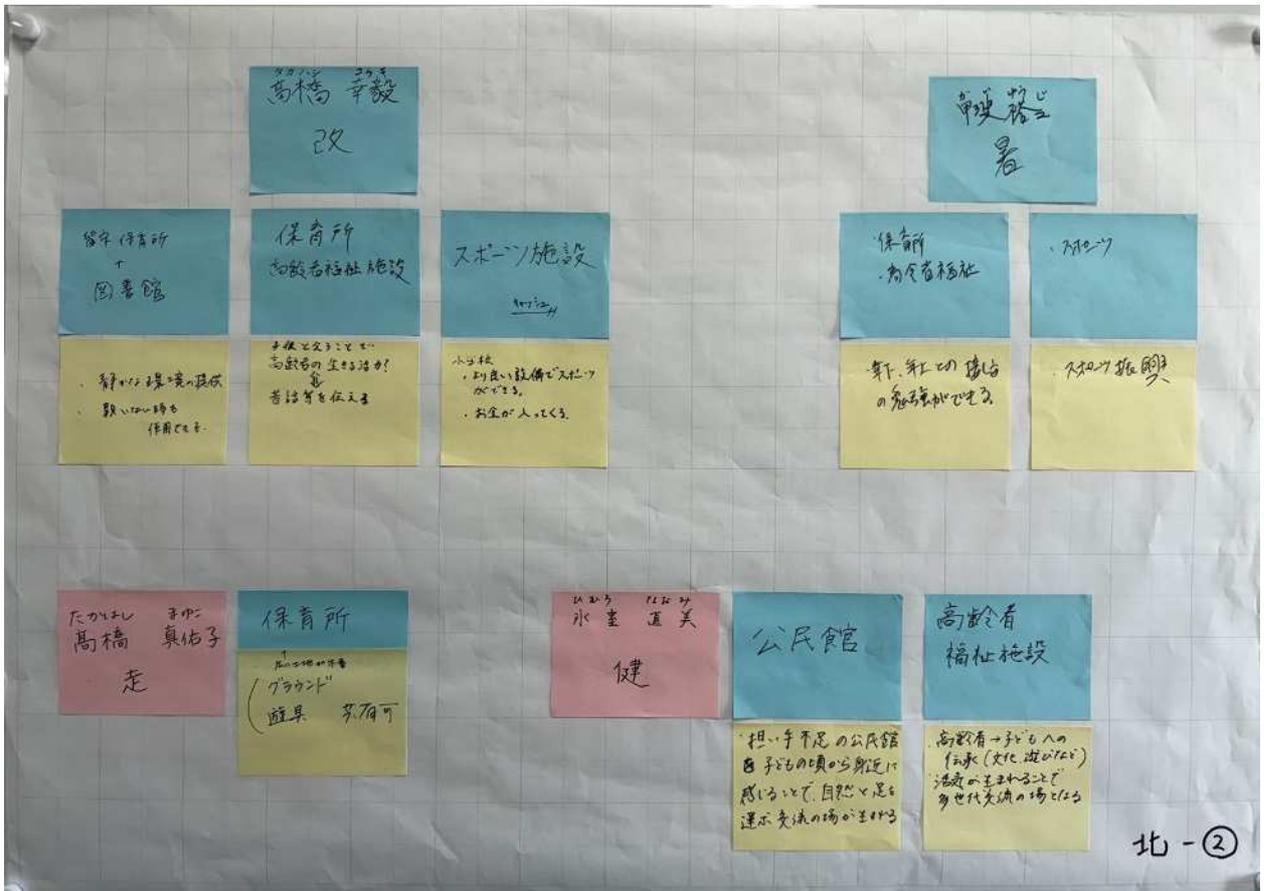
施設分類候補①	施設分類候補②	想定されるメリット
学校	地域交流の場（公民館、福祉施設、スポーツ施設など）	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流が活発になることにより、担い手の発掘が見込める ・子どもたちの社会参加を、実体験を通して促進できる
	保育所 + 留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・0～12 歳までの児童を連続して同じ場所で育てることができ、情操教育が可能
	保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい保育所だとグラウンドも狭いので十分に遊べない子どもが多いはず。学校と複合化したら、スペースを共有できるので良いと思う
	保育所 + 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長につながっていく
	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりが増える
	スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がより体を動かしやすいになる
学校のプール+ 体育館		<ul style="list-style-type: none"> ・学校のプールを室内にして、民営化 ・体育館を 2 階建てにして、下をプールにする
学校中心に全ての施設		<ul style="list-style-type: none"> ・交流、賑わい、コスト
廃校になった学校をフリースクール		<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクールは、家にこもらず、外に出る第一歩
コミュニティセンター	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・似たような内容の活動が集約されて、人員や経費の削減ができる
留守家庭児童保育所	図書館 or スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・退屈しない ・保護者がいなくても動ける環境（図書館・スポーツにいける）
	保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・0～15 歳児の両親の対応が簡単になる ・両親が共働きできるメリットが大きい
保育園・幼稚園・学校 + 病院		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが全力で遊べると思う
スポーツ施設が多いが、学童、福祉施設、交流施設、図書館の複合施設があった方が良い		<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の活性化
まだ世の中になかった複合施設 （外国に学び、日本独自で皆で考える）		<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性 ・未来の新しいスタイル ・日本・世界のモデル大野城市
防災機能		<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した際に、最初に行くのは近所の公共施設であるから。国からのヘルプは数日来ないので、それまで耐えるための機能を持たせることで、2 次被害を防げると考えられる。

■ 成果写真

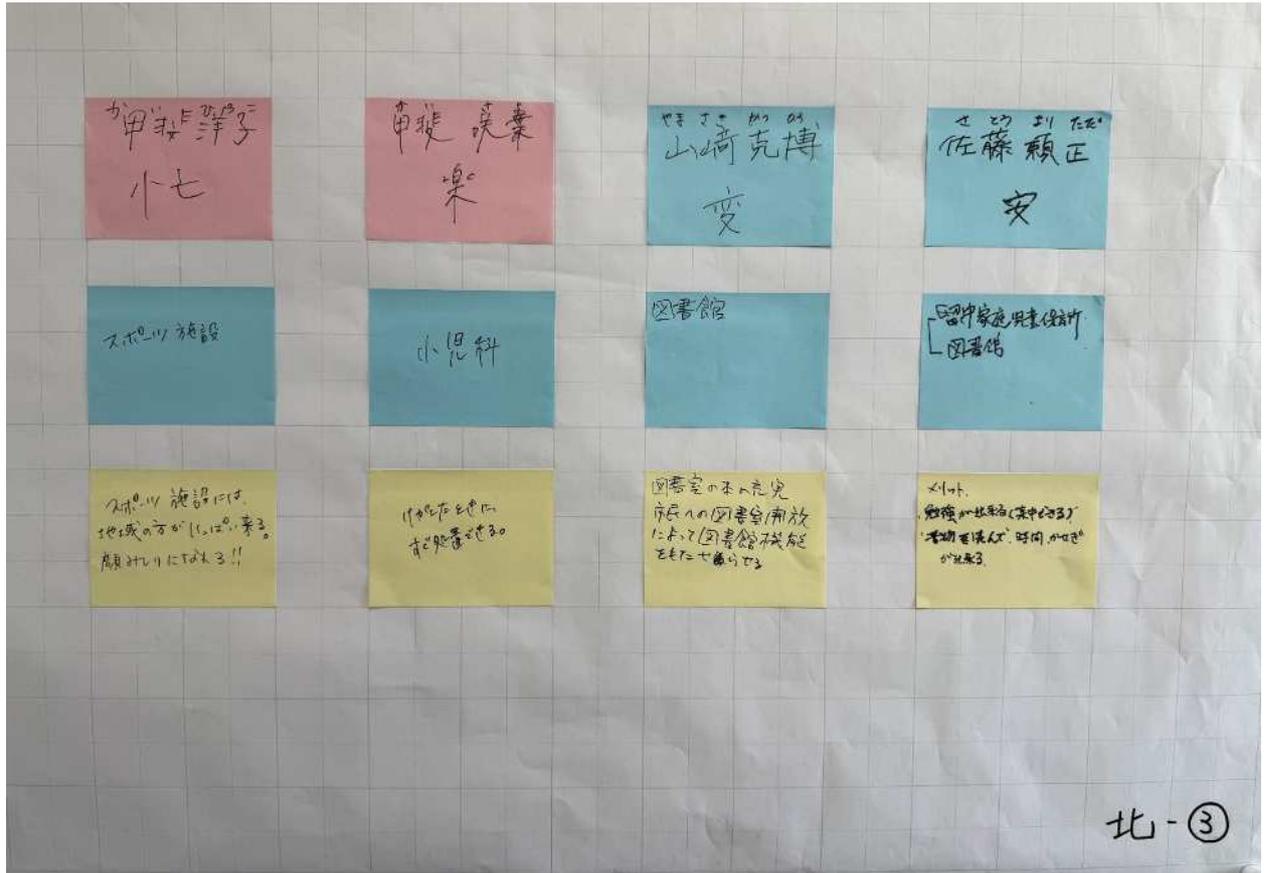
<1班>



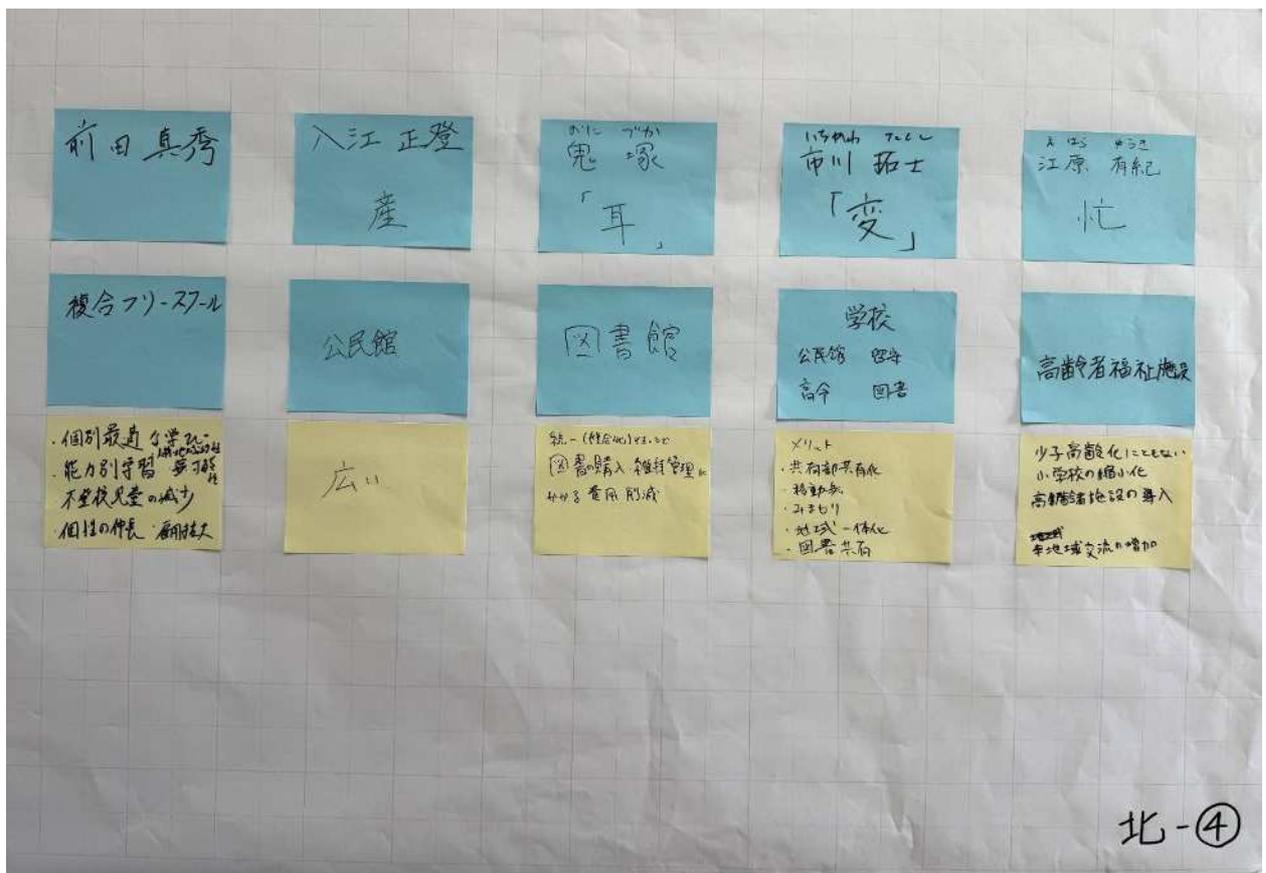
<2班>



< 3班 >



< 4班 >



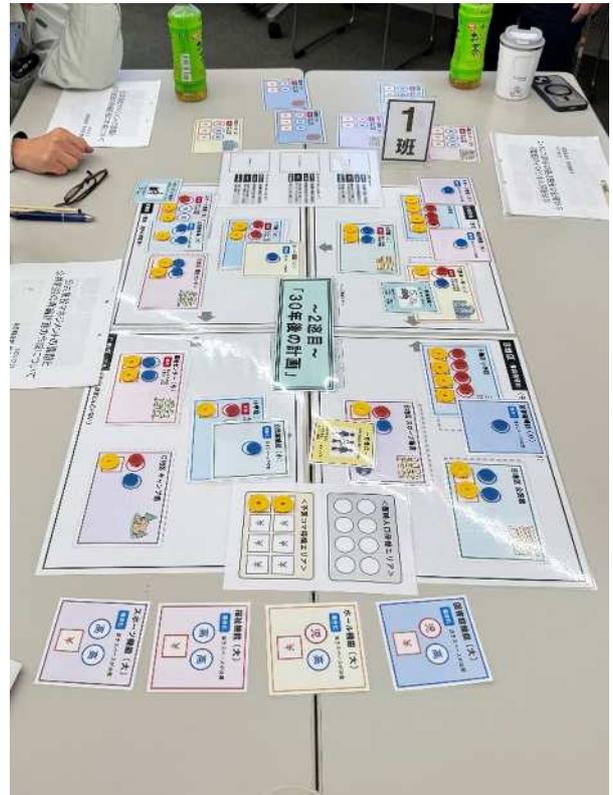
■ 公共施設マネジメントゲーム結果

1 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」

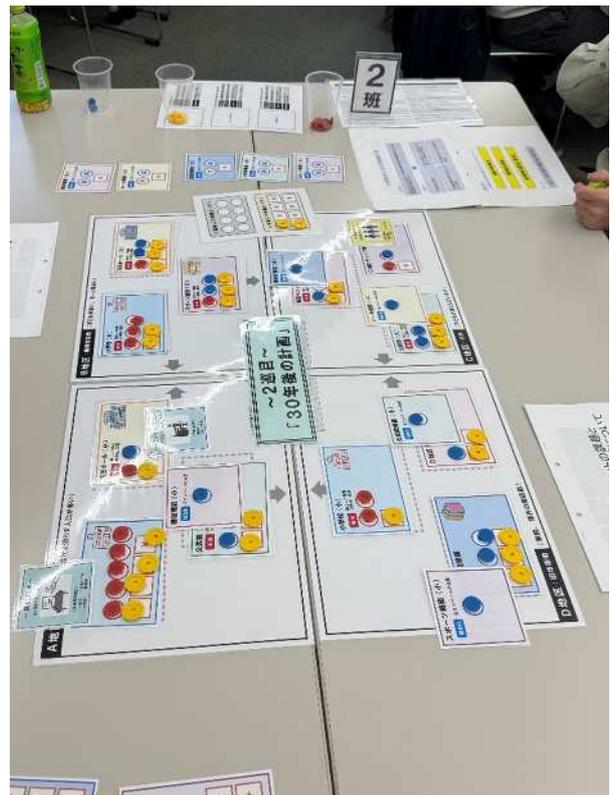


2 班

1 巡目の「30 年後の計画」

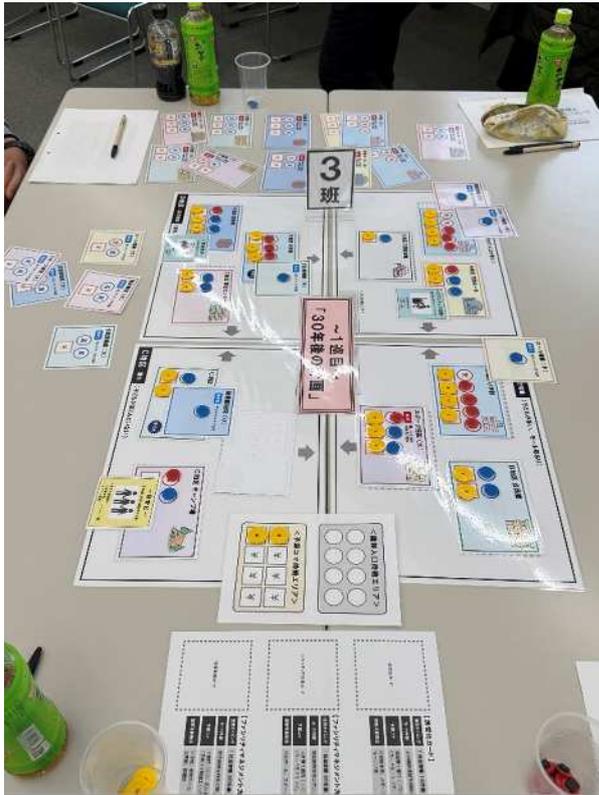


2 巡目の「30 年後の計画」



3 班

1 巡目の「30 年後の計画」

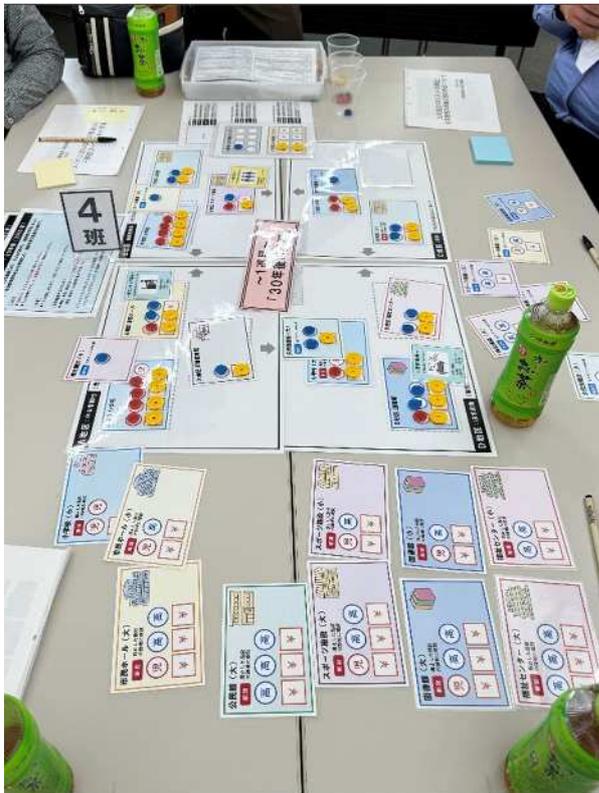


2 巡目の「30 年後の計画」



4 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



公共施設再編計画の市民ワークショップ^o

開催日時：2025年1月18日（土）10：00～

開催場所：中央コミュニティセンター 視聴覚室

参加人数：21名



マネジメントゲームの感想

- ・ 全地区に公民館を設け、また、各機能が偏らないように配置した。
- ・ 地域に何が必要なのかを考え、各コミュニティが維持できるように配置した。学校がないのは痛手なので全地区に学校を配置し、公民館も必要だと考えた。
- ・ 小学校は最低限必要だが、小学校に複合化する機能や、市営駐車場の跡地の使い方等を考えた。
- ・ 1巡目から各地区の特徴を意識しながら、リアリティあふれた配置ができたと思う。
- ・ 実際と違う面もあったが、将来的に複合化の重要性がわかった。
- ・ ゲームのルールと進行によって「学校施設の有効活用」という考え方に自然に行きついた。

■ 学校施設と複合化するのに望ましい施設（グループワークまとめ）

施設分類候補	想定されるメリット
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと地域交流 ・子どもが多くの人と出会い、様々な経験ができる ・大人が身近に子どもを感じ、地域全体で子育てをする意識
集会所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと地域の方の居場所ができる
保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所と小学校の連携がとりやすい ・子どもが見慣れている、安心
留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の安全が守られる ・共働き世帯の支援
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や高齢者も小学校に足を運ぶ機会が増える ・市民全体の学びのスペース ・学校の図書館も充実 ・図書室、図書館の統合（効率化・合理化）
高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化等の伝承、高齢者との交流 ・子どもと高齢者の交流を図りやすい ・ボケ防止
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ施設、児童と大人の交流 ・年齢問わず、交流できる ・放課後の子どもの居場所 ・遊び教室（高齢者先生の子どもたちへ文化、スポーツ指導） ・宿泊施設を利用する ・夜間キャンプ場としてグラウンドの利用 ・体育館、グラウンド
キャンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しそう
市民ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・数が増、音、音楽室、体育館
展示ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の展示（企画）スペースの提供と子どもたちの作品展示
障がい児福祉施設	—
小学校 + 公民館 + 留守家庭児童保育所	—

■複合化するのに望ましい施設（WS アンケート）

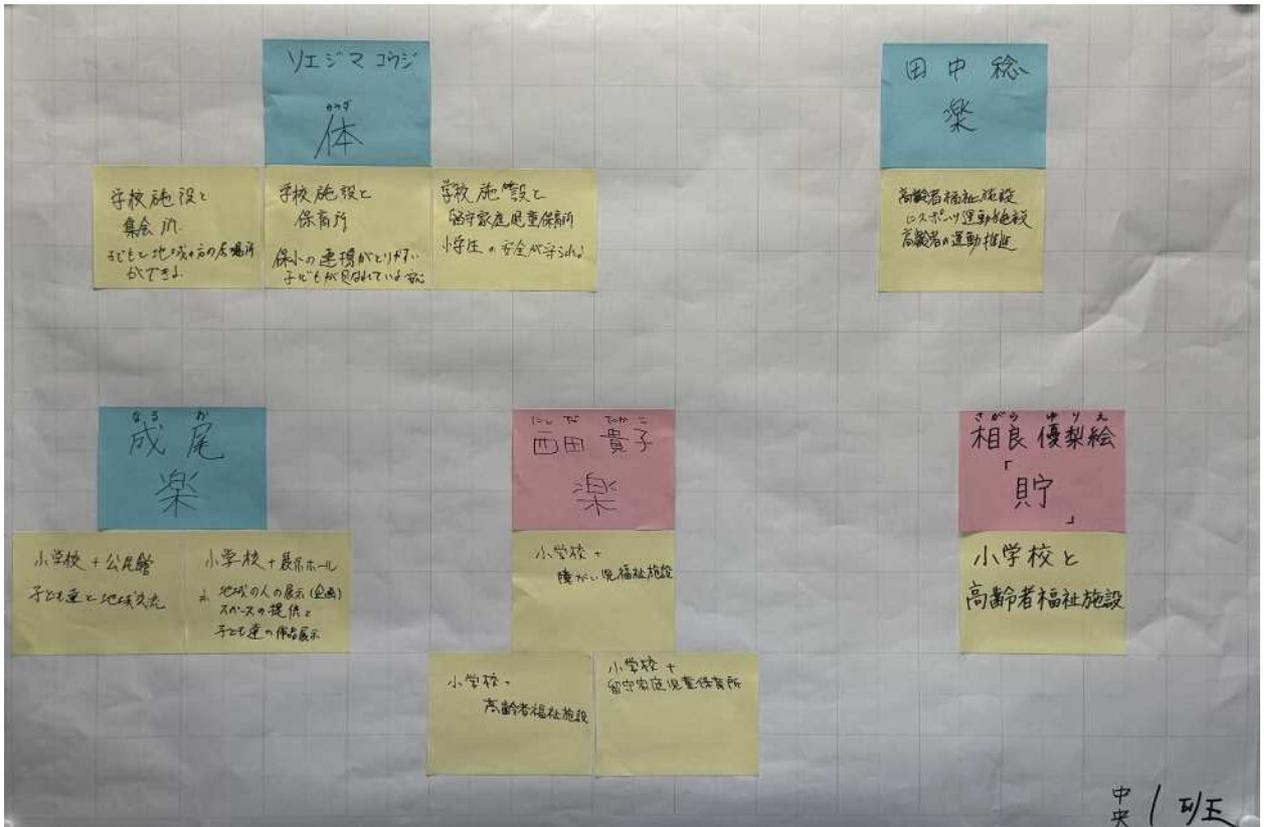
施設分類候補①	施設分類候補②	想定されるメリット
学校	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代の住民が自然と生活の中で交流する環境づくり。まずは、お互いに他人でないことが大事かと思う。 ・地域全体で子育てをすることができる。居場所づくり。 ・子どもが様々な経験ができる
	公民館、図書館	・学校教育と社会教育の融合が大事
	留守家庭児童保育所	・高齢者と子どもなど、地域での関わりがしやすくなる
	福祉施設	
スポーツ施設＋市民ホール		
小学校の空きスペース、既存施設を活用した保育所、福祉施設、図書館、スポーツ施設		・全世代の交流、子どもと高齢者のみならず、現役世代が集まる機能が必要
学校を中心とした地域コミュニティの創設、多機能を持たせる		・子育て世代が魅力を感じる施設・地域づくり
高齢者福祉施設	スポーツ施設	・高齢者の運動促進
	保育園等	—
福祉施設		—
障がい児福祉施設		・人と人、高齢者と小学生等、つながりをもつことで元気な地域になる
図書館	留守家庭児童保育所	—
遊びの場		・AI 時代で人間の機能がなくなってしまう。身体を動かす場、機会も広げる
若い世代がフレキシブルに使える空間		・高齢化が進む中での若い世代からの活性化

<その他意見>

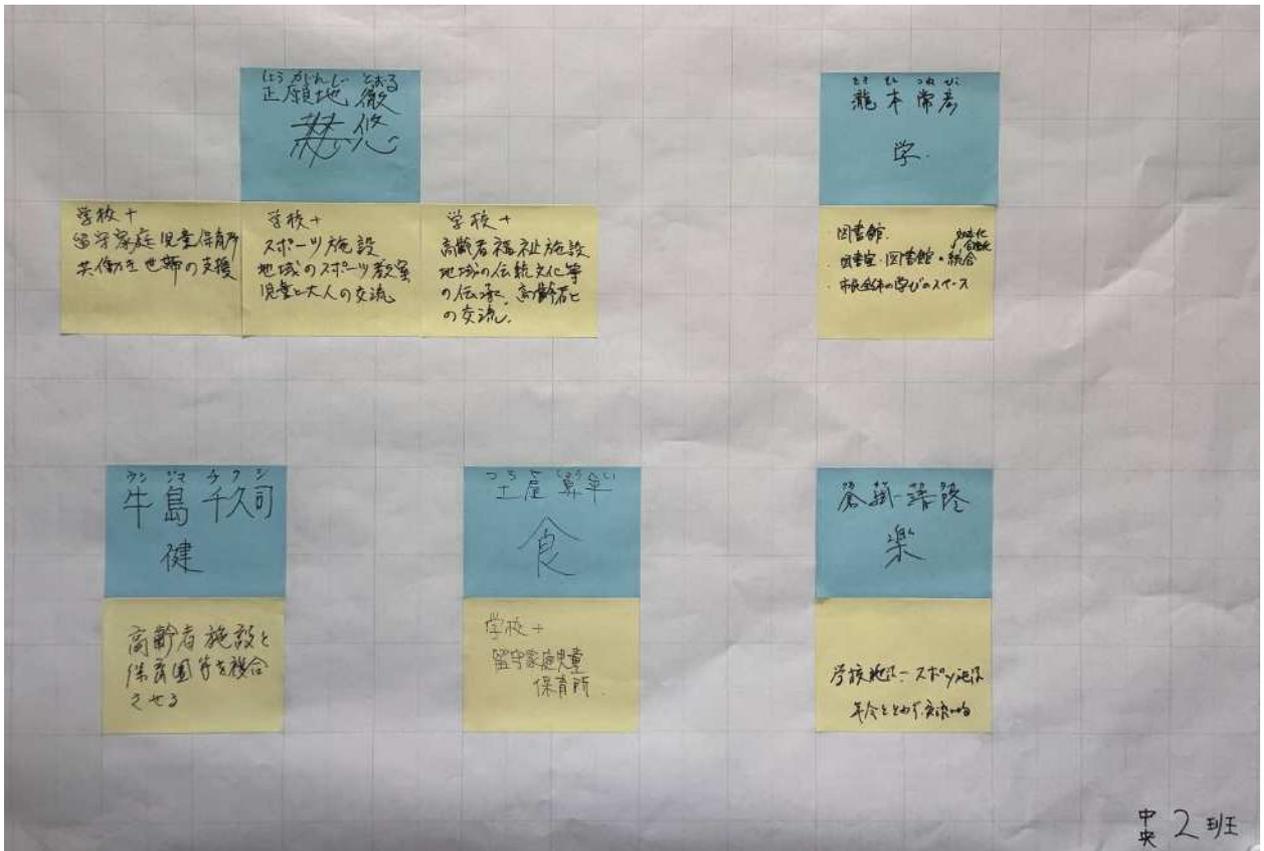
- ・学校を1つにまとめる
- ・学校＋図書館、留守家庭、シニアの活動の場
- ・学校施設＋公民館、保育所、留守家庭児童保育所、図書館、高齢者福祉施設、スポーツ施設

■ 成果写真

< 1 班 >



< 2 班 >



< 3班 >

武田 子	岸松雄 「成」	林田茂 乗	高瀬 「楽」	小地孝貴 「楽」
留守のマイ + 図書館	スポーツ施設 英彦のこども屋敷	学校施設 + 市民ホール 歌川町、若、若葉 体育館	学校施設 + 市民ホール 歌川町、若、若葉 体育館	学校施設 + 市民ホール 歌川町、若、若葉 体育館
小学校+公民館 + 留守家庭〜		学校施設 + キャンプ場 英彦	学校施設 + キャンプ場 英彦	学校施設 + キャンプ場 英彦

中央 3班

< 4班 >

前川由美子 動	坂田康雄 「勝(記)」	國武潤一 「健」
図書館 ・ 市民ホール ・ 市民ホール ・ 市民ホール	福祉機能 ↓ 学校施設 (ボクシング)	学校施設 + 市民ホール 歌川町、若、若葉 体育館
高齢者福祉施設	学校施設 + 公民館 歌川町、若、若葉 体育館	

中央 4班

■ 公共施設マネジメントゲーム結果

1 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



2 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



3 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」

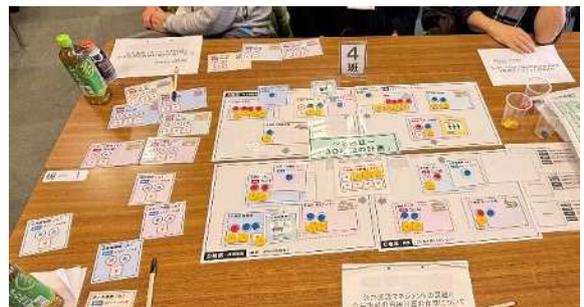


4 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



公共施設再編計画の市民ワークショップ^o

開催日時：2025年1月18日（土）15：00～

開催場所：東コミュニティセンター 視聴覚室

参加人数：22名



マネジメントゲームの感想

- ・ 少子高齢化が進むけど、バランスも考えながら小学校は残し、配置計画を考えた。
- ・ 学校や公民館を残しながら、他の施設や機能の配置を考えた。
- ・ 小学校は残し、バランスを考えつつ、どの機能の複合化するかを考えた。
- ・ 1巡目は失敗してしまったが、2巡目は少子高齢化と予算のバランスを考えながら配置した。
- ・ 将来の市の姿を改めて考える機会になった。
- ・ お金と人のマネジメントを実感できた。

■ 学校施設と複合化するのに望ましい施設（グループワークまとめ）

施設分類候補	想定されるメリット
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域化 ・児童・生徒と地域住民の交流 ・学校も公民館も地域の拠点 ・公民館には地域の人が集まるので、地域とのコミュニティやつながりが生まれる ・行事の共同化 ・放課後の子どもの居場所 ・居場所（勉強・遊び） ・学校が家庭と地域の協働を求めているので一緒にあるとちょうどよい ・多世代交流、見守り、忙しい大人の代わり ・子どもの見守り
保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての保護者にとっての目線で！！子どもが増える？！ ・一貫学習
留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の校区に児童保育所があれば、働く親たちが安心して負担が減るのではないか？ ・共働きの親が安心して子どもを預けられる ・同一施設に併設しているので安全 ・共働きで送迎できないこと ・移動しなくても大丈夫 ・子どもたちの移動が楽。敷地が一つでいい ・ランドセルクラブを続けてもらった方がよい
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の共有化 ・高齢者による読み聞かせ ・図書館が近い方が借りやすい
高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と子どもが顔を知ることにつながる。高齢者が元気になる。 ・元気や優しさを育める ・高齢者の方に色々教えていただいたり、また、高齢者の方も子どもたちとふれ合うことにより元気になれるため ・世代間の交流 ・高齢者の方とのふれあいができる ・昔の遊びなどを教えてもらえる ・世代間交流・
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革が言われている一方、子どもたちにはスポーツをする場所が必要。そこでボランティア活動もできると思う。 ・中学校部活動 ・部活動時間制限の有効活用
小中一貫＋保育所・留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫＋保育所・留守家庭児童保育所も一緒にして、保育・教育一貫に預け先が一か所だと親が楽
中学校＋コワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・有効活用、収益化、働く場所の確保、仕事が身近に
青少年の居場所（ユープレミたいな）	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中学生以上は、放課後に過ごす場所がなく、商業施設やマックなどに集まっている。安全・安心に過ごせる場所があるといいと思う。
音楽練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を練習する場所が少ない
子ども食堂	—

■複合化するのに望ましい施設（WS アンケート）

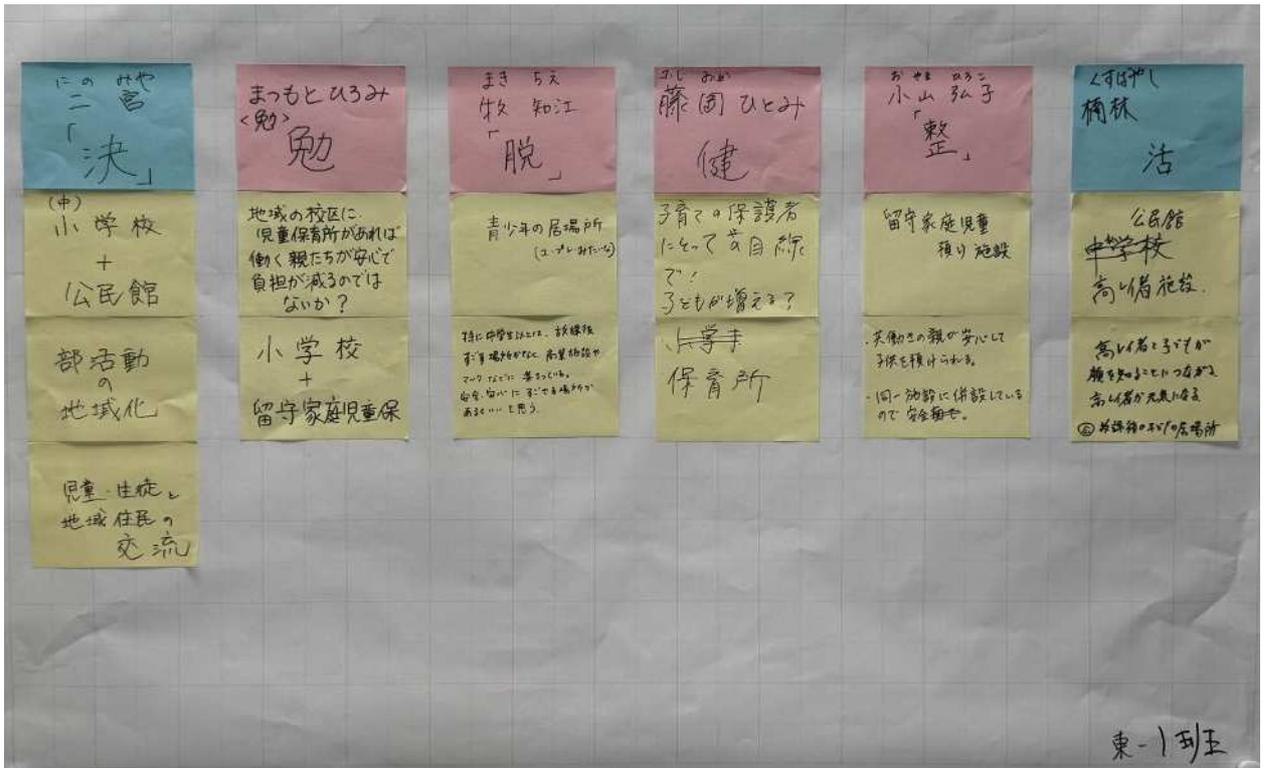
施設分類候補①	施設分類候補②	想定されるメリット
学校	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人のつながりができること。 ・子どもの放課後の居場所 ・地域と生徒の交流が生まれる。中学校の部活の地域化。
	保育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達をたくさんの目で見守ることができる
	留守家庭児童保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きの親が安心して働ける
	福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と高齢の方の交流。相互に役に立てると感じる。 ・世代間交流（通路等の改善が必要）
	スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交流館が盛んになると思う。
	スポーツ施設、音楽練習施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと大人の交流、イベントの活性化
	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・交流 ・みんなの距離が近くなる ・本を手にする回数が増える
小学校	中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生のつながりができる
中学校	青少年が集まれる施設	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生の集まれる施設は非行を防げるのでは？
小・中学校の有効活用		<ul style="list-style-type: none"> ・若者の居場所、交流の場
学校		<ul style="list-style-type: none"> ・交流を生み出す。地域のつながりを増やす。
公民館	保育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながり。地域との愛着に。地域との連携。子どもの見守り。 ・交流
	スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・近場にほしい ・健康長生きを目的に
高齢者と子どもとのふれあいの場		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとっては居場所づくり。高齢者にとっては活気ある生活となるのでは。また、子育て世代にも助かるのでは。

<その他意見>

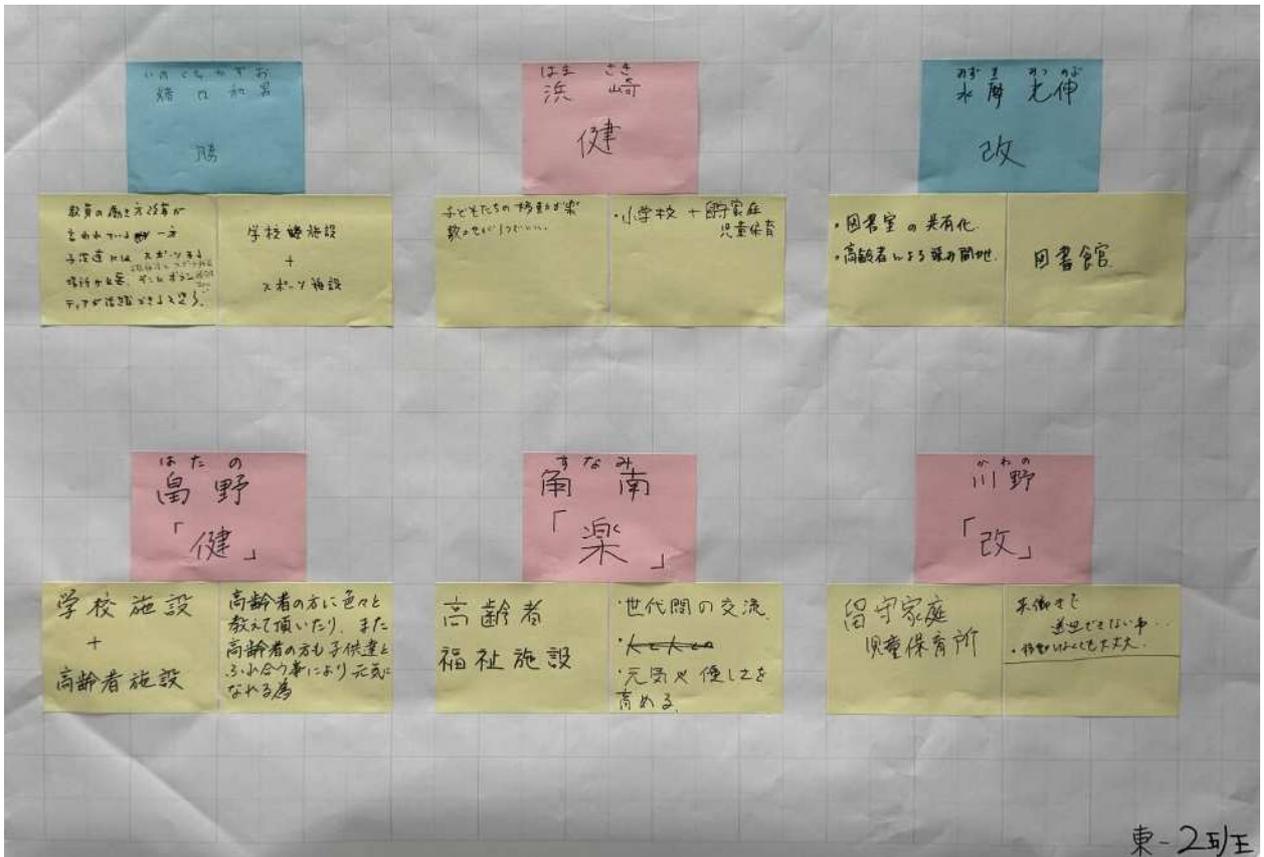
- ・教育と保育、地域福祉と学校
- ・各コミュニティセンターに不登校児向けのスクール

■ 成果写真

< 1 班 >



< 2 班 >



< 3班 >

<p>中島 慈乃 「慈」</p>	<p>ハス保 金</p>	<p>いわた 絆</p>	<p>えぐら 楽</p>	<p>はらだ 育</p>
<p>公民館</p>	<p>高齢者福祉施設</p>	<p>公民館</p>	<p>公民館</p>	<p>コワモック × 湯中学校</p>
<p>学校と公民館と地域の 関係 学校が、地域の地域の 中心として、様々な 活動の中心として、 様々な活動を行う。</p>	<p>高齢者の方との 交流の場を 設けること を目的とする。</p>	<p>居場所 (勉強・遊び)</p>	<p>公民館には地域・人々を 結びつける役割がある。 地域の中心として、 様々な活動を行う。</p>	<p>有効活用 4層化 働く場所の確保 仕事に身近に</p>
<p>保育所 - 保育所を 活用する 小・中・高の 学校と連携して、 様々な活動を行う。</p>		<p>スポーツ施設</p>		
		<p>中学校 活動</p>		

東-3班

< 4班 >

<p>島田 休</p>	<p>長澤 初</p>	<p>柳田 美和子 「健」</p>	<p>川崎 けん 「責」 (世の)</p>	<p>小笠原 健</p>
<p>児童保育所 (4中校)</p>	<p>学校施設 + スポーツ施設</p>	<p>小学校 + 留守児童 保育所 + 図書館</p>	<p>高齢者 福祉施設 (世代間交流)</p>	<p>留守児童 センター</p>
<p>図書館 (4中校)</p>	<p>部活動時間制限の 有効活用</p>	<p>理由: 小学校 の部活動は、 地域と連携して 行う。 図書館が、 地域と連携して 行う。</p>	<p>保育所 (一貫学習)</p>	
	<p>学校施設 + 音楽練習室</p>	<p>子ども食の</p>	<p>公民館 (行事の協同化)</p>	
	<p>楽器練習場 場所作り</p>		<p>各々2人に 不登校児童向け の スポーツ</p>	

東-4班

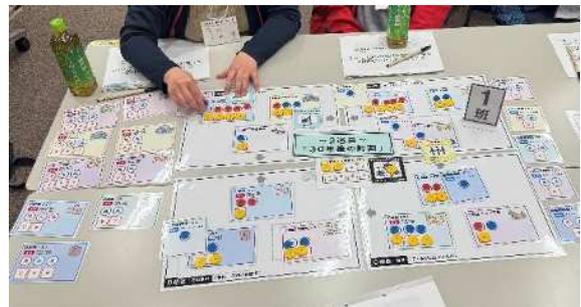
■ 公共施設マネジメントゲーム結果

1 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



2 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」

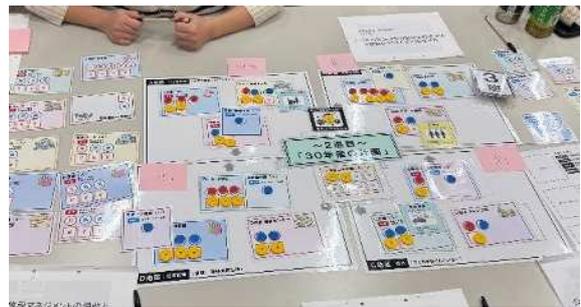


3 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」



4 班

1 巡目の「30 年後の計画」



2 巡目の「30 年後の計画」

